

■ BV検証済データ一覧

ページ	番号	名称	検証番号
21	—	リコーグループ環境行動計画(2005年度～2007年度)/進捗状況(2006年度実績)	(1)
25	①	《日本》エネルギー消費量の推移 白黒複写機・複合機	(2)
	②	《日本》エネルギー消費量の推移 カラー複写機・複合機	(3)
	③	《日本》省エネモードからの復帰時間の推移 カラー複写機・複合機	(4)
	④	《グローバル》QSU技術によるCO ₂ の削減量	(5)
28	①	《グローバル》複写機・トナーカートリッジの回収実績/再資源化率	(6)
	②	《グローバル》再生資源使用量の推移	(7)
29	①	前身機(新造機)と再生機のLCA比較(CO ₂ 排出量)	(8)
31	①	《グローバル》製品の環境影響化学物質排出基準達成状況	(9)
36	①	《日本》エネルギー使用量 リコーグループ(生産)	(10)
	②	《日本》エネルギー使用量 リコーグループ(非生産)	(11)
	③	《日本》主要なエネルギーの使用量内訳 リコーグループ(生産)	(12)
	④	《海外》エネルギー使用量 リコーグループ(生産)	(13)
	⑤	《リコーグループ全体》CO ₂ 以外の温室効果ガス排出量(CO ₂ 換算) リコーグループ(生産)	(14)
40	①	リコーロジスティクスの輸送におけるCO ₂ 、NO _x 、SO _x 排出量	(15)
42	①	《リコーグループ全体》廃棄物総発生量 リコーグループ(生産)	(16)
	②	《リコーグループ全体》水の使用量 リコーグループ(生産)	(17)
	③	《日本》廃棄物再資源化率/総発生量/総排出量/最終処分量 リコーグループ(生産)	(18)
	④	《日本》廃棄物再資源化率/総排出量/最終処分量 リコーグループ(非生産)	(19)
	⑤	《海外》廃棄物再資源化率/総発生量/総排出量/最終処分量 リコーグループ(生産)	(20)
45	①	《リコーグループ全体》リコー削減対象物質の使用量・排出量推移 リコーグループ(生産)	(21)
	②	《リコーグループ全体》公害防止関連項目(NO _x 、SO _x 、BOD)の排出量推移 リコーグループ(生産)	(22)
48	①	リコーグループ生産関連事業所 地下水汚染調査結果と浄化状況(2007年3月現在)	(23)
55	—	事業活動全体のエコバランス	(24)
57	—	2006年度 リコーグループのコーポレート環境会計	(25)
77	—	サイト別データ	(26)

2. 今後の課題

- 所有車両の燃料使用量は計上するが、レンタカーの燃料使用量は計上しないことになっている。使用者としても使用量の削減に影響できる範囲と捉え、取り組むことを検討して頂きたい。
- 中国の生産拠点であるSRF、SRDにおいては、相当する排出係数がないという理由で使用した蒸気量に相当するCO₂が計上されていなかった。これらの例に見られるような不確かな要素を含むデータは、推定値を計上することにより、報告書に記載された値と実体の値とのギャップを更に小さくすることも検討して欲しい。
- 毎年新しいサイトで検証を実施しているが、過年度に他のサイトで指摘した内容と同じことを指摘する事例に今回も遭遇した。同じ内容の指摘をした例としては、データ入力時のミスを減少させるための仕組みの必要性や化学物質排出移動先の不適切な分配係数が挙げられる。改善事例を他のサイトに共有する仕組みの強化が必要ではないか。